成功への道筋が見えて来る！かがわの産業界の今をお届けする

公益財団法人
かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION
https://www.kagawa-isf.jp

かがわ産業情報21

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

2020 July | vol.77
7
年4回発行

TOP NEWS

かがわ産業支援財団は、新型コロナウイルス感染症に関して特別支援体制で、中小事業者等を強力に支援します

特 集

香川県よろず支援拠点が新体制で再スタート

～新型コロナウイルスによる緊急対応も実施中！土日祝も相談いただけます～

《プッシュ型事業承継支援高度化事業》

事業承継時の経営者保証解除に向けた支援制度が始まりました

かがわ発！元気創出企業

「アーバン工芸株式会社」

自分たちにしかない強みを
唯一無二のカタチに！
だからものづくりは面白い。

TOP NEWS

かがわ産業支援財団は、新型コロナウイルス感染症に関して特別支援体制で、中小事業者等を強力に支援します

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経営面で多大な影響を受けている県内中小企業を強力に支援するため、5月7日より、特別支援体制で取り組んでいます。

1.「新型コロナウイルス関連経営相談窓口」の設置

新型コロナウイルス関連に特化した、特別相談窓口を設置し、中小企業診断士などの専門家が、事業者の実態に応じ、経営相談と国・県・市町などの施策の活用方法などについて助言します。

相談窓口電話番号　087-840-0391
（受付時間　平日8:30～17:15）

- 設置日：令和2年5月7日（木）～当面の間 平日・毎日
- 設置時間：8:30 ～ 17:15
- 設置場所：香川産業頭脳化センタービル1F（高松市林町2217-15）
- 対応者：中小企業診断士等専門家による対応
- 相談方法：来訪、電話、WEB等による相談（事前予約制）
  - ●来訪による相談を希望される場合は、感染防止対策を行ったうえで対応します。
  - ●電話による相談を希望される方には、専門家から電話をいたします。
- 実績：窓口に電話いただいた件数：302件
  専門家による相談対応件数：220件（6月19日現在）

2.「新型コロナウイルス関連企業支援チーム」によるプッシュ型支援

県内事業者に対して、国や県の事業継続や雇用維持に関する支援施策に加え、省庁の枠を超えた国の経済対策全般にかかる各種施策や県内市町の取組みを積極的に紹介するため、「新型コロナウイルス関連企業支援チーム」を財団内に設置します。

- 設置日：令和2年5月7日（木）～7月31日（金）まで
- 支援方法：財団職員で「支援チーム」を編成し、県内事業者への電話連絡によるプッシュ型で各種支援制度の情報を提供し、最適な窓口へつなぎます。
- 実績：事業者へ電話した件数：1,289件
  コロナの影響ありと回答：975件（6月19日現在）

3. 横断型各種施策の総合的な紹介ホームページの公開

https://www.kagawa-isf.jp/link/corona.htm

「香川県よろず支援拠点」の休日経営相談（中小企業庁委託事業）

財団内に設置している香川県よろず支援拠点では、3月から当面の間、新型コロナウイルス関連に特化した、土日祝日対応の無料経営相談を実施しています。ご利用ください。（2Pにも記載）

- 開設時間：10:00～14:00
- 設置場所：香川産業頭脳化センタービル2F「香川県よろず支援拠点」（087-868-6090）
- 相談方法：来訪、電話、WEB等による相談（事前予約制）

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15　TEL 087-840-0391　FAX 087-869-3710

CONTENTS

2020年7月 vol.77 発行（年4回発行）　かがわ産業情報21 7

【トップニュース】
かがわ産業支援財団は、新型コロナウイルス感染症に関して特別支援体制で、中小事業者等を強力に支援します …… 1
【特　集】
香川県よろず支援拠点が新体制で再スタート
～新型コロナウイルスによる緊急対応も実施中!土日祝も相談いただけます～ …… 2
《プッシュ型事業承継支援高度化事業》
事業承継時の経営者保証解除に向けた支援制度が始まりました …… 3
【支援事例紹介】
機能性表示食品の届出支援事例の紹介 …… 4
～新かがわ中小企業応援ファンド等事業～
【財団の活動】
「地域資源ブランド化・販路拡大支援事業」の令和2年度の支援対象事業が決定しました!! …… 5
【財団からのお知らせ】
令和2年度「商品化技術テーマ調査事業」募集のご案内 …… 5
～新かがわ中小企業応援ファンド等事業（令和2年度後期事業）～
「新分野等チャレンジ支援事業」を募集しています!! …… 6
「中小企業等外国出願支援事業」（外国出願補助金）募集のお知らせ …… 7
「かがわ知財経営塾」を開催します …… 7
令和2年度 高度産業人材育成事業（IT研修）のご案内 …… 8
【かがわ発！元気創出企業】
自分たちにしかない強みを
唯一無二のカタチに!
だからものづくりは面白い。
アーバン工芸株式会社 …… 9

01 特集

香川県よろず支援拠点が新体制で再スタート！

～新型コロナウイルスによる緊急対応も実施中！土日祝も相談いただけます～

「よろず支援拠点」は国が全国に設置する経営相談所です。香川県よろず支援拠点では、経営、創業、商品開発、補助金活用などをはじめとした相談業務を行っており、さまざまな業種の事業者や起業を考えている方など、たくさんの方々にご利用いただいています。

当拠点がある香川産業頭脳化センタービル以外にも、コーディネーターによる出張相談が行えるサテライトを県内6か所に設置しておりますので、経営のお困りごとがございましたら、分野にかかわらず、当拠点またはお近くのサテライトをお気軽にご利用ください。

この度、新しいチーフコーディネーターとして矢野稔洋氏が着任し、新メンバーも加わって、5月から新体制で再スタートしています。また新型コロナウイルス感染拡大により、経営に影響を受けている事業者様への対応として、当面の間、土・日・祝にも相談をお受けしていますので、下記のお問い合わせ先からお申込みください。

お問い合わせ先

TEL.087-868-6090

●受付時間：平日8：30～17：15　土・日・祝10：00～14：00
（土・日・祝はコロナ関連相談に限ります）※できるだけ事前にご連絡、ご予約をお願いします。

コーディネーター（専門家）の紹介

〈チーフコーディネーター〉〈サブチーフコーディネーター〉

矢野 稔洋
［ヤノ トシヒロ］
【経営／資金調達／経営戦略】

豊田 浩伸
［トヨタ ヒロノブ］
【商品開発／販路開拓】

梅澤 秀樹
［ウメサワ ヒデキ］
【経営／金融／事業承継】

柴田 直美
［シバタ ナオミ］
【経営／創業／IT】

川上 実
［カワカミ ミノル］
【経営／業務品質向上】

竹内 哲也
［タケウチ テツヤ］
【商品戦略／販路戦略】

水本 規代
［ミズモト ミヨ］
【IT活用／生産管理】

小笠原 大知
［オガサワラ ヒロトモ］
【財務／資金】

島谷 美保
［シマタニ ミホ］
【IT利活用／WEB／EC】

野中 利員
［ノナカ トシカズ］
【医療／介護】

香川 貴子
［カガワ タカコ］
【経営／新事業／生産性向上】

松尾 隆志
［マツオ タカシ］
【経営／営業】

谷川 由紀
［タニガワ ユキ］
【人事労務／人材活用】

創業・起業サポート
中小企業診断士等の専門家が創業プランや資金計画などをお手伝い。

経 営 相 談
経営理念、経営戦略、事業承継など経営に関する相談をお受けします。

金 融 相 談
資金計画、資金繰り表の作り方など金融に関するアドバイスを行います。

販路開拓・商品開発
段階に応じたマーケティング支援、新商品の開発など幅広く支援します。

補助金活用・支援機関
有効な補助金の活用や、課題に応じた他支援機関などのご紹介。

IT・デザイン・広報
チラシデザインからITまで幅広く支援。PRや広報のノウハウも伝授。

香川県よろず支援拠点の所在地・お問い合わせ先

〒761-0301 高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
香川県よろず支援拠点
TEL.087-868-6090　FAX.087-869-3710
MAIL.　yorozu@kagawa-isf.jp

※「香川県よろず支援拠点」は、公益財団法人かがわ産業支援財団が実施機関となって運営しています。

県内6か所にサテライトを設置し、月1～2回出張相談を行っています。

●三豊サテライト
三豊市危機管理センター1階
三豊市商工会（インパルみの）
TEL：0875-73-3012（三豊市 産業政策課）

●東かがわサテライト
東かがわ市役所2階 相談室
TEL：0879-26-1276（東かがわ市 地域創生課）

●小豆島サテライト
小豆島町役場本館1階 打合室1
TEL：0879-82-7021（小豆島町 商工観光課）

●丸亀サテライト
丸亀市保健福祉センター（ひまわりセンター）4階
TEL：0877-24-8844（丸亀市 産業観光課）

●まんのうサテライト
まんのう町商工会館1階 相談室
TEL：0877-73-0122（まんのう町 地域振興課）
TEL：0877-73-3711（まんのう町商工会）

●観音寺サテライト
観音寺市役所内相談室
TEL：0875-23-3933（観音寺市 商工観光課）

開催日程など詳細に関しましては、各サテライトへお問い合わせください。　※事前予約制

香川県よろず支援拠点での支援事例について

目玉商品の開発により 地域特性にとらわれない 営業形態を実現

相談者 ケーキ工房 れいくんち
代　表 西野 朋美 様
三豊市財田町財田中2604-2
TEL.090-7783-2163

もともと立地面などを考慮して卸のみでの創業を考えていました。企業や店舗のラボ的な位置づけで、お客様の要望に応じたものを作る工房をイメージしていましたが、直販の方が、利益率が高いことや、周囲に競合がいないことなどから、店舗経営の提案、そして、立地を活かした看板商品作りのアドバイスを受けました。そのおかげもあって、「れいくんちのシュークリーム」というイメージも拡がってきたように思います。客観的な視点からのアドバイスによりコンセプトの設定から小売りの提案、看板商品を作ること、売上シミュレーションなどの支援のおかげで、最適な事業展開ができたと思います。創業してから4年目の現在も、新たな商品開発や支援施策を活用した事業展開という多面的な支援をいただいています。

支援のポイント

POINT❶ 自社の強みを活用した看板商品の開発提案の実地
POINT❷ 売上シミュレーションの作成・支援による具体的な数値把握の支援
POINT❸ 地域や立地特性を把握した事業展開提案

香川県よろず支援拠点では、他にも様々な支援事例があり、その一部は当拠点のホームページからもご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

香川県よろず支援拠点HP
URL https://yorozu-kagawa.jp/
※右記QRコードよりご覧いただけます

香川県よろず支援拠点Facebook
URL https://www.facebook.com/yorozu.kagawa/
※右記QRコードよりご覧いただけます

02 特集

《プッシュ型事業承継支援高度化事業》
事業承継時の経営者保証解除に向けた支援制度が始まりました

財団では、平成30年度に「香川県事業承継支援窓口」を設置し、事業承継への意識喚起、早期・計画的な事業承継の促進のため、事業承継コーディネーターによる伴走型支援を実施してまいりました。さらに今年度は、「事業承継時の経営者保証解除に向けた総合的な対策」（中小企業庁）の策定を受け、新たに「経営者保証コーディネーター」を配置し、後継者への経営者保証を理由に事業承継を躊躇している経営者を対象に経営者保証解除に向けた支援を行います。

支援の流れ

事業承継に経営者保証の課題を抱える中小企業・小規模事業者

↓ 相 談

香川県事業承継支援窓口（(公財)かがわ産業支援財団内）

経営者保証コーディネーターが「事業承継時判断材料チェックシート」に基づき、経営者保証に関するガイドラインの充足状況を確認し、今後の取組みをアドバイスします。

☑チェック内容
●経営者保証解除の可否の判断に資する情報の整理・見える化
●法人と経営者の資産・経理の分離状況や適時適切な情報開示など

チェックシートをクリアしている場合 ↓
保証解除に向けた金融機関との目線合わせを支援します。
※保証解除の最終的な判断は金融機関が行います。

チェックシートをクリアできていない場合 ↓
チェックシート未充足の内容に応じて、支援機関の活用等の適切な助言を行います。

〈経営者保証コーディネーター〉

村尾 俊二
［ムラオ シュンジ］

〈経営者保証サブコーディネーター〉

山中 章巧
［ヤマナカ アキヨシ］

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 香川県事業承継支援窓口
高松市林町2217-15　TEL.087-802-7070　FAX.087-869-3703

機能性表示食品の届出支援事例の紹介

食品業界では健康志向食品の開発が活発に行われており、現在、注目を浴びているのが「機能性表示食品」です。平成27年7月に当財団が設置した「新機能性表示食品開発相談センター」では県内中小企業者等が機能性表示食品の届出をスムーズに行えるように支援を行っています。当財団の支援を受けて令和元年度に届出完了し、機能性表示食品として販売されている製品は下表の7商品です。

商品名	讃岐もち麦ダイシモチ	大人のチョコプリン	和菓子のような もち麦パンケーキミックス
事業者名	㈱まんでがん	㈱ルーヴ	吉原食糧㈱
届出日	令和元年6月26日	令和元年7月10日	令和元年9月5日
機能性 関与成分	大麦β-グルカン	難消化性デキストリン （食物繊維）	大麦β-グルカン
機能性内容	食後血糖値の上昇抑制 整腸作用	食後血糖値と 血中中性脂肪の上昇抑制	食後血糖値の上昇抑制 整腸作用

商品名	パンケーキ 大麦パウダー	讃岐もち麦 ダイシモチゆで麦	食後血糖値が気になる方の	
			さぬきうどん オリーブうどん	さぬきうどん
事業者名	㈱山清	㈱まんでがん	㈱めりけんや	㈱めりけんや
届出日	令和元年11月14日	令和元年11月15日	令和2年1月30日	令和2年1月30日
機能性 関与成分	大麦β-グルカン	大麦β-グルカン	難消化性デキストリン （食物繊維）	難消化性デキストリン （食物繊維）
機能性内容	食後血糖値の上昇抑制 整腸作用	食後血糖値の上昇抑制	食後血糖値の上昇抑制 整腸作用	食後血糖値の上昇抑制 整腸作用

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ 1F　TEL 087-869-3440　FAX 087-869-3411

～新かがわ中小企業応援ファンド等事業～

「地域資源ブランド化・販路拡大支援事業」の令和２年度の支援対象事業が決定しました!!

公益財団法人全国中小企業振興機関協会の中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用し、今年度新たなメニュー「地域資源ブランド化・販路拡大支援事業」を創設しました。

県内の中小企業者が創意工夫して行う地域の資源を活用した商品の開発、デザイン開発等によるブランド力の強化、戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある新たな取り組みを支援します。

この度、令和2年4月14日から5月15日まで募集を行ったところ18件の申請があり、審査の結果、支援対象事業を次のとおり5件決定しました。

採択５件（申請18件）採択額10,000千円（助成率２/３以内、助成額200万円以下）

（順不同、敬称略）

テーマ	事業者	採択額（千円）
縫製技術を活用した新規レディースブランドの確立	有限会社川北縫製（さぬき市）	2,000
伊吹産いりこラーメン商品の開発	株式会社久保田麺業（丸亀市）	2,000
産業用手袋における市場開拓を目的とした 産業用オリジナルブランド「BULLWORK（仮称）」の事業化	株式会社ダイコープロダクト（さぬき市）	2,000
「ダイシモチ」を活用した長期保存食の商品開発および販路開拓	宝食品株式会社（小豆島町）	2,000
地球環境にやさしいブランド商材の開発及び拡販	株式会社フクシン（東かがわ市）	2,000

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15　TEL 087-868-9903　FAX 087-869-3710

令和２年度「商品化技術テーマ調査事業」募集のご案内

県内の企業等が、商品化を目的とした技術テーマについて、大学・高専・公設試験研究機関等と連携して調査・開発しようとする場合、その調査研究費を助成します。

応募方法　所定の申請書様式に必要事項を記載のうえ、当財団へご提出下さい。
申請書様式等は、当財団のホームページ（http://www.kagawa-isf.jp内「補助金・助成事業」）からダウンロードできます。

募集期間　**令和2年7月3日（金）～令和2年9月4日（金）必着**
※テーマの事前連係期限は、令和2年8月24日（月）までとします。

対 象 者　県内に事業所を有する企業、団体および住所を有する個人

対象事業　助成対象者が行う大学等学術研究機関または公設試験研究機関等との共同研究体制にある事業

助成率・額　助成金額100万円以内（消費税込）
助成率4／5以内（委託費は対象経費の9／10以内）

助成期間　交付決定日から令和3年9月30日まで

対象経費　原材料費、構築物費、機械装置・工具器具費、外注加工費、研究委託費、調査委託費、調査旅費、販路開拓費　ほか

選　　考　書類審査及び専門家等で構成する技術審査会を経て決定します。
申込者は技術審査会で事業説明（プレゼンテーション）を行っていただきます。

採択件数　4件程度

採択通知　令和2年10月上旬に申請者宛に通知予定

備　　考　同一テーマ又は類似テーマで、国、県などの助成事業との併願は可能ですが、本助成事業と重複して助成金を受けることはできません。

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川 1F　TEL 087-840-0338　FAX 087-864-6303

～新かがわ中小企業応援ファンド等事業（令和２年度後期事業）～

「新分野等チャレンジ支援事業」を募集しています！！

「新かがわ中小企業応援ファンド」を活用して、県内中小企業者が取り組む研究開発や販路開拓、生産性向上、人材育成など、総合的に支援を行っています。この度、令和2年度後期事業として、新分野進出等のための商品・技術開発や市場性を見極めるための試作品作成などに取り組む事業を募集します。ぜひご活用ください。

【募集メニュー】

新分野等チャレンジ支援事業

県内の中小企業者が取り組む新商品・新技術の開発や市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証試験などを支援し、新分野等への挑戦を後押しします。

助成対象者	県内に主たる事務所・事業所を有する中小企業者
助成率・額	2／3以内、50万円以上100万円以下
採択予定件数	7件程度
募集期間	令和2年6月19日（金）～8月20日（木）17時必着
申 込 先	公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課　TEL.087-840-0338

【応募方法】

応募にあたっては、所定の申請書様式と添付書類に必要事項を記載のうえ、上記の申込先に提出してください。
申請書様式等は、当財団のホームページ（https://www.kagawa-isf.jp/）からダウンロードできます。

【助成の対象となる事業の決定】

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査会での審査を経て決定します。
申請者は審査会で事業説明（プレゼンテーション）を行っていただきます。

新かがわ中小企業応援ファンド等事業（新分野等チャレンジ支援事業）支援事例　　事業年度：令和元年度

株式会社ＡＤＳムラカミ（高松市）

テーマ　**多目的段差解消機兼入浴補助装置への安全装置考案及び異物侵入防止策への研究・開発**

背景・目的

現在、介護現場等で入浴時の補助用として利用されている段差解消機は、一般的に電動式が多く、外部電源が必要なことから、一度設置すると使用場所の変更が困難となる。

そこで、業界初の水圧システムを搭載し、介護・福祉施設以外に、一般家庭やプール、温浴施設等多目的に利用可能な段差解消機の開発に取り組むこととした。

開発前

事業内容と成果

開発した商品の特長は、
①水圧システムのため、油漏れゼロ
②外部電源不要(主電源は充電式リチウムバッテリー)のため、移動可能
③本体はステンレス製で、屋外でも使用可能

本事業では、さまざまな用途での安全性を確保するため、ＪＩＳの安全項目に沿って、安全装置と異物侵入防止策の考案・試験を行った。

安全装置としては、主電源へのいたずら防止のため、キースイッチの設置個所に工夫を施すほか、異物侵入防止策としては、テーブル下面にロールカーテンや蛇腹を設置し、その有効性を検証した。

今回開発した段差解消機は、国内唯一の水圧システムを採用していることから、電源工事が不要で、水陸両用タイプとして多目的に使用できる装置として利便性が高く、幅広い分野への販売を目指すとともに、独自のオーダーメイド受注にも取り組んでいく。

開発後

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9903　FAX.087-869-3710

「中小企業等外国出願支援事業」（外国出願補助金）募集のお知らせ

内　容　中小企業等の外国出願（特許、実用新案、意匠、商標、冒認対策商標）にかかる費用の一部を助成します。

募集期間　**令和2年10月30日まで**（2次締切：8月31日、3次締切：10月30日）
（募集期間中であっても、予算額に達した時点で受付を終了します。）

応募資格　香川県内に事業所を有する中小企業者で条件を満たす者。
※条件については、お問い合わせください。（当財団ホームページにも掲載しています。）

補助金額
- 補助率：1/2以内
- 1企業の上限額：300万円（複数案件の場合）
- 案件ごとの上限額
（●特許出願：150万円、●実用新案、意匠、商標出願：60万円、●冒認対策商標出願：30万円）

対象経費　（消費税は対象外）
- 外国特許庁への出願手数料、現地代理人費用、国内代理人費用、翻訳費用
（令和3年2月末までに実績報告が完了するものに限ります。）
（日本国特許庁への出願に要する経費は対象になりません。）

応募方法　所定の様式の申請書と添付書類をそろえて、下記の提出先に提出ください。
- 書類審査及び申請者が申請理由等を説明する審査委員会により採択案件を決定します。

提 出 先　公益財団法人かがわ産業支援財団
知的財産支援部 知的財産支援課（森、大久保）
〒761-0301　高松市林町2217-15　香川産業頭脳化センタービル2階

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産支援課
高松市林町2217-15　TEL.087-867-9332　FAX.087-867-9365

「かがわ知財経営塾」を開催します

知的財産の活用により企業競争力の強化を促進するため、日本弁理士会の協力を得て、知的財産の活用に関心のある経営者（陣）を主な対象として、知的財産の活用について、独立行政法人工業所有権情報・研修館が作成した研修テキスト「ケーススタディで学ぶ！グローバル知財マネジメント」を題材としてわかりやすい内容でワークショップ形式で開催します。受講料は無料ですので、お気軽にお申し込み下さい。受講者は30名で、原則5回全ての講義を受講される方を優先します。

なお、新型コロナウィルス感染症拡大防止対策により、開催日程等を変更する場合があります。

	開催日	開催場所	テーマ	講　師	定員
第1回	令和2年10月7日（水） 13:30～15:30	ネクスト香川 3F 会議室	ケーススタディで学ぶ知財マネージメント 実践講座「特許の活用編」	（一社）発明推進協会 桑原 良弘 氏	30名
第2回	令和2年10月15日（木） 13:30～15:30		ケーススタディで学ぶ知財マネージメント 実践講座「トラブル対応編」	松島国際特許事務所 弁理士　松島 理 氏	30名
第3回	令和2年10月22日（木） 13:30～15:30	香川産業頭脳 化センタービル 2F 一般研修室	ケーススタディで学ぶ知財マネージメント 実践講座「営業・提携編」	松島国際特許事務所 弁理士　松島 理 氏	30名
第4回	令和2年10月29日（木） 13:30～15:30		ケーススタディで学ぶ知財マネージメント 実践講座「製造・販売・事業運営編」	松島国際特許事務所 弁理士　松島 理 氏	30名
第5回	令和2年11月4日（水） 13:30～15:30		ケーススタディで学ぶ知財マネージメント 実践講座「戦略的活用編」	（一社）発明推進協会 桑原 良弘 氏	30名

昨年の開催風景

お問い合わせ先　公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15　TEL.087-869-9004　FAX.087-867-9365

令和２年度 高度産業人材育成事業（ＩＴ研修）のご案内

当財団では、「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」として、地域産業の技術の高度化を支援するため、高度産業人材育成事業を実施しています。その一環として、今年度は情報処理技術者を主な対象とした、マネジメント系「プロジェクトの計画とコントロール」「プロジェクトマネジメント演習」、システム上流の「業務分析設計概説」、プログラム系「JavaScript」「Python　プログラミング」のコースのほか、専門技術者以外の方にも役立つ、「演習を通して学ぶ、デザイン思考・アート思考」「人工知能入門・実践講座」「初めてのxR（VR、AR、MR）入門講座」「IoT講座（製造業向け）」のコースを設けていますので、多数の方のご参加をお待ちしております。

コース区分	コースNo.	コース名	定員	日数	研修内容	受講料 教材費 （税込）円	受講対象者	実施時期	会場
マネジメント	❶ プロジェクトマネジメント								
	M011	**「プロジェクトマネジメントの計画とコントロール」** 筑波大学 准教授　木野 泰伸 氏	15	2日	企業・組織・個人の目標を達成するための、プロジェクトマネジメントの方法を体系的に学ぶ。この半世紀に世界で蓄積されてきた「モダンPM」の内容を、具体的に分かりやすく解説する。身近なプロジェクトに使えるようになるのが目的である。	3,000	興味のある方全て	9月7日(月) 9月8日(火)	専門研修室
	M012	**「プロジェクトマネジメント演習」** 筑波大学 准教授　木野 泰伸 氏	15	3日	だれにでもわかる簡単なケースを用いて、プロジェクトマネジメントを体験的に学ぶ。参加者がチームを編成して事例演習を行うことで、世界共通のモダンPMの進め方が体得できる。	5,000	「プロジェクトの計画とコントロール」を受講している方、もしくは同程度の知識を持っている方。	10月5日(月) 10月6日(火) 10月7日(水)	専門研修室
	❷ デザイン思考								
	M021	**「演習を通して学ぶ、デザイン思考・アート思考」** 香川大学 創造工学部教授　大場 晴夫 氏	15	2日	「デザイン」や「アート」いう概念は、一部のクリエイティブな職種の人にしか関係のないものと思われるかもしれないが、実際は、ビジネスやエンジニアリングなど、あらゆる領域で応用され、企業でも導入するケースが増加している。「デザイン思考」や「アート思考」を身につけることで、誰もがユニークな視点で、解くべき課題を発見し、創造的な解決法に一歩近づくことができる。 このワークショプでは、「デザイン思考」や「アート思考」とは何か。どのような手法とプロセスがあるのか、また問題の種類によって適した活用方法などを、実例を通して紹介する。また同時に、鉛筆スケッチなど実際に手を動かす演習を通して（上手に描く必要はありません）、誰もが持っている感性を引き出す訓練を行う。左脳（論理性）と右脳（感性）の両方をバランス良く活用した思考スタイルを身につけ、課題を独自の視点で発見し創造的に解決する力を身につける。	3,000	興味のある方全て	9月17日(木) 9月18日(金)	専門研修室
システム上流（分析）	❸ 業務分析設計概説								
	E031	**「業務分析設計概説」** ～システム開発における要件定義のまとめ方～ NPO法人 ITCかがわ 会長　中庭 正人 氏 NPO法人 ITCかがわ 理事　塚本 浩二 氏	15	2日	システム開発の上流工程において、全体最適な視点での業務要件、システム要件を導き出す技法を学ぶ。 顧客と関係を構築し、必要な情報を引き出すなど、システム要件に必要なコミュニケーション手法を学ぶ。	受講料 3,000 教材費 2,000	対象：システム開発で顧客要件の定義作業に携わる必要のある方。 前提知識：システム開発工程の全体像に関する知識のある方。	11月19日(木) 11月20日(金)	一般研修室
システム下流（プログラミング）	❹ アプリケーション開発								
	E041	**「JavaScript」** 香川大学 創造工学部 准教授　香川 考司 氏	15	2日	●JavaScriptの概要　●JavaScriptの文法・制御構造・関数　●JavaScriptによるDOMの操作 ●JavaScript API（Ajax,Canvas,WebStorage,…） ●JavaScript上のライブラリー ●ジェネレーター、非同期関数	3,000	何らかの言語でプログラミング経験のある方。 ※パソコンの持参をお願いします。普段使われているPCであれば特に問題ないです。	9月29日(火) 9月30日(水)	専門研修室
	E042	**「Python プログラミング」** 香川大学 名誉教授　本田 道夫 氏	15	2日	●Python とAnaconda ●コマンドプロンプト画面でのPython の利用 ●Python の言語説明 ●数値、文字列、変数　●リスト、タプル、辞書、集合 ●プログラムの制御構造、関数　●モジュール、パッケージ、プログラム　●クラスとオブジェクト ●ファイル入出力 ●ライブラリの利用 ●グラフ描画　●NumPy ライブラリによる配列操作	3,000	C、C++、C#、Javaなどのプログラミング言語のいずれかを知っていることが望ましい。 ※パソコンの持参をお願いします。仕様としては、Pythonとライブラリーが豊富なAnacondaなどを入れるため6GB程度の空きがCドライブに必要です。	9月14日(月) 9月15日(火)	一般研修室
ソリューション	❺ 人工知能								
	S051	**「人工知能入門・実践講座」** 早稲田大学 澤田研究室 大学院生（予定） ※早稲田大学 先進理工学部応用物理学科 教授　澤田秀之 氏	15	2日	受講生の持込みPCにテンソルフローなどの開発環境をインストールし、研修・自主学習を通じて、Deep Learningのプログラミングと活用事例を学ぶ。 ●受講生のPCへのディープラーニング開発環境の設定 ●実際の課題についてのプログラミング　●ニューラルネットワークの原理、数学的基礎、ディープラーニングへの展開に関するレクチャー　●機械学習の事例紹介	3,000	Pythonの基礎知識をお持ちの方。 ※パソコンの持込みが必要（NVIDIAのGPU（グラフィックボード）を搭載していること）	9月24日(木) 9月25日(金)	ネクスト3F 大会議室
	❻ xR（VR、AR、MR）								
	S061	**「初めてのxR（VR、AR、MR）入門講座」** 青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング 特任研究員　小野 好之 氏	15	1日	エンタメから産業応用まで幅広い分野で注目されているxR（VR、AR、MR）の入門コース。実際に体験をした上で簡単なコンテンツ作成の実習を行う。 ●xR（VR、AR、MR）とは　●xRの応用分野と事例紹介 ●Oculus　RiftによるVR体験　●ARコンテンツの作成実習　●グループワークショップ	3,000	VR、ARに関心があるエンジニア、商品・事業企画担当者 実習ではProcessingとArduinoを使った簡単なプログラミングを行うが初心者でも可。	10月23日(金)	専門研修室
	❼ IOT講座（製造業向け）								
	S061	**「IOT講座（製造業向け）」** NPO法人 ITCかがわ 会長　中庭 正人 氏 NPO法人 ITCかがわ 会員　岩倉 洋平 氏	15	1日	初心者向けM5Stackを使った、マシン稼働率の見える化	受講料 3,000 別途 教材費	初心者向けM5Stackの始め方（ArduinoIDE編）	11月5日(木)	専門研修室

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、開催日程等を変更する場合があります。

【お申込み方法】 受講申込書は当財団ホームページからダウンロードしてご活用ください。（https://www.kagawa-isf.jp/）

- 受講開始日の2週間前まで、先着順にて受付けます。
- 各コースとも定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。
- 「受講申込書」に必要事項をご記入の上、郵送、FAX、e-mailまたは窓口にご持参ください。

※なお、新型コロナウイルス感染症の発生状況次第では、延期または中止になる可能性もございます。
その場合は、財団ホームページにてご案内いたしますので、ご確認をお願いいたします。

お問い合わせ先
公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15　TEL.087-868-9901　FAX.087-869-3710

かがわ発！

元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発！元気創出企業」。今回は、東かがわ市にある「アーバン工芸株式会社」を訪ねました。

自分たちにしかない強みを唯一無二のカタチに！だからものづくりは面白い。

昭和28年、革手袋製造業として現社長の父が立ち上げたのが「アーバン工芸株式会社」のはじまり。以来60余年に渡り、革製品の製造メーカーとしてこの地に根付いている。長年、OEMを中心としてレザー素材のバッグの企画・製造を手掛けていた同社が、昨年はじめ、オリジナルブランド「TIDE」を発表。これまでに培ってきた技術を余すところなく活かして生まれた、アーバン工芸ならではの高いクオリティを持つバッグはすでに注目を集めている。新たな挑戦に挑み続ける3代目の内海公翔氏にお話を伺った。

常務取締役
内海 公翔 氏

アーバン工芸株式会社

代表者　内海 昌滋 氏
所在地　東かがわ市三本松1135
電話番号　0879-25-4151（代）

http://urban-crafts.com/

ものづくり企業3代目の熱意からはじまった挑戦

地場産業でもある革手袋の縫製技術を用いたさまざまな製品を製造していた同社。昭和58年に現社長が就任し「アーバン工芸株式会社」として組織を変更した頃には、現在も事業の中心である皮革素材のバッグを数多く手がけるようになっていたという。

同社の強みは、長年高い技術力を必要とする手袋製造によって培ってきた縫製技術。曲線デザインや皮革のパッチワークなど繊細さを求められる婦人用バッグを得意とし、数々の企業からの依頼を受けてきた。

3代目となる常務取締役・内海公翔氏が入社したのは8年前。大学卒業後、東京でインターネット関連企業に就職した公翔氏だったが、「就職してしばらくした頃から、家業である国産バッグ製造を継続していく必要性を考えるようになった」という。だが、当時は安価な海外の工場などへ拠点を移す企業も増えていた時代。父である社長に入社の希望を伝えるものの、アパレル製造業の厳しさを知る社長からは、東京の会社に残ることを勧められたという。「でもダメと言われるとかえって自分にはこれしかない！と思うようになった」という公翔氏の熱意に押されるような形で、入社が決まった。

が「想像以上に甘くなかった」と話す公翔氏。OEMだけに頼った経営から脱却を図り模索するも打開策がなく、意見の食い違いなどによって辞めていった社員も少なくなかった。

スタッフに交じって検品作業中の内海社長。時間があるときには社長自ら検品作業を行うのが日常の作業風景だという

サンプルルームでは全ての工程を手がけられる3名が作業中。高い技術力を継承できるのも彼らの存在があるからこそ

取材時は6月初旬。新型コロナの影響でスタッフが交代で休業するなど通常とはいえない状況ではあるが、いいものを丁寧につくるという姿勢は変わらない。

良きパートナーとの出会いで自分たちの強みが明確に

「国産にこだわって手の温もりが伝わるものづくりを」。その姿勢を大切に製造メーカーとして確立してきた同社だったが、価格競争から脱却し、より企業として成長するには、付加価値となる自社ブランドが必要だ。そう考えた公翔氏は、独自ブランドを立ち上げることに。社内でアイデアを持ち寄って制作をはじめたものの、ブランディングや販売などの知識もないまま手探りで続けていくことには限界があった。

そこで専門家と二人三脚でブランドを立ち上げられないかと、いくつかのブランディングを得意とするコンサルタントに依頼するも「なかなか合うところがなくて」と公翔氏。コンサルタント自身の色が強く出すぎてしまい、アーバン工芸である必要性が薄くなってしまうように感じたこともあった。ものづくりをサポートしてくれるコンサルタントを探し続ける日々を経て、出会ったのが現在のコンサルティング会社だった。

「インターネットサイトから問い合わせをするところから始まって、話を進めたのですが、最初のうちは打ち合わせといっても、こちらの歴史や得意とする技術などをお伝えするだけ。うちの魅力を見つけるのに長く時間をかけてくれたんです」。社員も交え、自社の魅力や強みを洗い出すうちに、やはり、当社の歴史やルーツ、それにより培った技術を紐解くことの重要さに気づかされたという。

培ってきた技術力を集結させた自分たちにしかできないバッグを

「長年の経験により培った技を身につけた職人さんがいてくれた。その技術力こそが強みであり、私たちの強みだったんです」。導き出されたキーワードは、「内縫い」「パッチワーク」「曲線」。革を丁寧に縫い込む曲線のパッチワークを施すことで、ほかにはない繊細な表情が生まれる。これらの技術を活かしたデザインをつくり、それを施したバッグが出来上がったのは、コンサルティングを依頼して2年後だった。

「紆余曲折し、模索したけれど、結局はこれまでお客さまの依頼に応えようという思いで一つひとつ培ってきた技術こそが自分たちの強みだった。そう気づかされたのは大きかったですね」という公翔氏。さまざまな依頼に応える中でお客さまに成長させてもらっていた、という。そして、その技術を持つ職人一人ひとりが自社の財産であることも再認識したと話す。

現在、同社のスタッフは36名。上はこの道を極めた70代のベテラン、下は20代までとバランスよく揃っている。若手育成にも余念がなく、入社時にはまず熟練スタッフの手を借りながら、自分なりにイチからバッグを完成させるのだという。「自分なりに考えてバッグをつくることでものづくりの面白さをまず知ってほしい」と微笑む公翔氏。ものづくりは面白い！を体現する新しいブランドを事業の両輪に育てようと、スタッフとともに今後も奮闘していくはずだ。

瀬戸内の風景をイメージしたという曲線に惚れ込んだバイヤーからの依頼に応えた、藤巻百貨店オリジナルモデル「SETOUCHI」。限定販売され、すでに完売間近だそう

1枚1枚を手でつなぎ合わせていくパッチワークがバッグの主役。軽さを保つために縫い代は2mmというその綿密さこそ、高い技術力のなせる技

令和元年9月には、プロダクトブランド「TIDE」として渋谷ヒカリエで行われた「PROJECT TOKYO」に出展

令和2年度 **2次募集中！**

地域課題解決型

起業等スタートアップ支援補助金

（公財）かがわ産業支援財団では、県内での社会的事業における効果的な起業を促進し、地域の諸課題の解決を通じた地域活力の向上を図ることを目的に、県内で創業する者に対して、その創業に要する経費の一部を補助します。皆様の積極的なご応募をお待ちしています。

Ⅰ. 補助対象事業・補助金額

対　象　事　業	補助金上限額
地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、地域に蓄積された強みなどの地域資源を生かして地域の課題の解決に資する事業であって、次の要件をすべて満たすものであること。 ①本県の地域社会が抱える課題の解決に資すること ②提供するサービスの対価として得られる収益によって自律的な事業の継続が可能であること ③地域の課題に対し、当該地域における課題解決に資するサービスの供給が十分でないこと	**200万円** 〈補助率 1/2〉 ※予算の範囲内での採択となります。

Ⅱ. 補 助 対 象 者

以下、全ての要件を満たす者であること

(1)**補助金の当初募集開始の日（令和２年４月10日）から令和２年12月31日**までに、県内において個人開業若しくは株式会社、合同会社、合名会社、合資会社、企業組合、協業組合、特定非営利活動法人等の設立を行う者（募集開始以後、既存事業とは異なる新たな事業を行う法人等の設立、あるいは、新たに個人として開業届を行う者も対象）

(2)県内に居住していること、又は、補助事業の完了日までに県内に居住することを予定していること。

(3)法人の登記又は個人事業の開業の届出を県内で行う者であること。

(4)県税を完納していること。

(5)**創業支援塾等（※）を受講**（交付申請日時点で未受講の場合、受講の意思があり、補助事業期間の完了日までに受講）の上、その事実を証明すること。

※　かがわ産業支援財団が実施する創業支援塾、産業競争力強化法（平成 25 年法律第 98 号）第 2 条第 26 項に規定される特定創業支援事業として実施される創業塾、創業セミナー、個別指導、個別相談等

Ⅲ. 補助対象経費

人　件　費	補助事業に直接従事する従業員に対して支払う給与・賃金（直接雇用契約を締結した者に限る。）
事　業　費	創業等に必要な官公庁への申請書類作成等に係る経費、店舗等借入費、設備費、原材料費、知的財産権等関連経費、謝金、旅費、マーケティング調査費、広報費、外注費
委　託　費	事務遂行に必要な業務の一部を第三者に委託した経費

Ⅳ. 公　募　期　間

令和2年6月22日（月）～7月27日（月）

申請手続きについて

申請についての詳細条件や必要書類は、「起業等スタートアップ支援補助金（地域課題解決型）2次募集要領」をご確認ください。募集要領や交付申請書様式等の関係書類は、財団のホームページからダウンロードできます。
（https://www.kagawa-isf.jp/）

申請書類提出先、お問い合わせ先

（公財）かがわ産業支援財団　企画情報課
〒761-0301 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2階
TEL:087-868-9901　FAX:087-869-3710

（※）提出方法は、郵便、宅配又は持参にて行ってください（FAX による提出は不可）。

行事予定（講座、イベント等）

開催日	名　称	場　所	担当課
11月12日	知財マッチングセミナー	ネクスト香川3F 大会議室	知的財産普及課
11月18日	知財マッチング in かがわ2020	香川産業頭脳化センタービル 会議室等	知的財産普及課

総務部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F
総務課
TEL（087）840-0348 FAX（087）869-3710
施設管理課
TEL（087）869-3700 FAX（087）869-3703
企画情報課
TEL（087）868-9901 FAX（087）869-3710
ファンド事業推進課
TEL（087）868-9903 FAX（087）869-3710

企業振興部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL（087）840-0391 FAX（087）869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL（087）868-9904 FAX（087）869-3710

技術振興部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地16
FROM香川1階
産学官連携推進課・健康産業プロジェクトチーム
TEL（087）840-0338 FAX（087）864-6303

地域共同研究部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地43
RISTかがわ1階
研究管理課・研究開発課
TEL（087）869-3440 FAX（087）869-3441

知的財産支援部
〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川産業頭脳化センタービル2F
知的財産支援課
TEL（087）867-9332 FAX（087）867-9365
知的財産普及課
TEL（087）869-9004 FAX（087）867-9365

この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。　印刷：香川印刷株式会社